



作品名「冬の氷」 KOTOさん/作

株主の皆様へ

第64期 中間株主通信

2024年4月1日～2024年9月30日

TAKAMAZ はパラリンアートを応援しています

 **Paralym Art**®

パラリンアートとは

障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、
彼らのビジネス支援を行う活動です。

情勢の変化に対応し、様々な施策を実行して、 企業として一歩上の高みを目指していきます

代表取締役社長 高松宗一郎

Q 第64期中間期の実績について、 お聞かせください。

当社グループの主力分野である工作機械業界では、需要回復傾向がみられるものの、EV開発方針の逡巡、海外情勢などから、ユーザは設備投資に対する慎重な姿勢を崩さず、力強さに欠く動きが続いてきました。

このような中で当社グループは、工作機械事業では、主力である自動車業界向けの販売強化に加え、その他業界向けの市場開拓をはかり、国内外の営業活動を積極的に行ってきました。IT関連製造装置事業では、既存取引先との取引伸長や、新規取引先の開拓に取り組み、自動車部品加工事業では、採算性見直しに取り組んできました。また、新規事業として、2024年4月より販売開始した廃ビンを自動選別する資源ごみAI自動選別機「AI・B-sort」の販売活動を全国規模で取り組んできました。

これらをはじめとした精力的な取り組みの成果が徐々に表れていますが、まだ十分な水準に達していないことから、当中間期は、受注高が55億64百万円(前年同期比25.1%減)、売上高が64億49百万円(同8.1%減)、営業損失が3億4百万円(前年同期は1億53百万円の営業損失)、経常損失が2億88百万円(前年同期は1億53百万円の経常損失)となりました。また、このような状況を踏まえ、繰延税金資産を取り崩したことにより、親会社株主に帰属

する中間純損失が7億84百万円(前年同期は1億33百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

Q 第64期業績見通しについて、 お聞かせください。

主要顧客である自動車業界向けの需要は下期に若干の回復が見込めるものの、当初の回復見通しよりも大きく遅れています。当社グループは、仕入コスト低減や販売活動の強化など様々な施策を実施していますが、中間期業績の影響や、年初見通しよりも下期売上高が減少する見通しから、第64期の業績予想を修正しました。

第64期業績は、売上高を134億39百万円、営業損失を3億92百万円、経常損失を4億50百万円、親会社株主に帰属する当期純損失を9億63百万円と計画しています。

Q 現在行っている取り組みや、今後の取り組み、 またその見通しについて、お聞かせください。

前述のように当社グループを取り巻く環境は厳しいものとなっていますが、今後、自動車業界向けの需要が本格回復することが期待されています。そこで来たる時期に向けて、次のような取



り組みを現在行っています。

一つ目は「顧客ニーズを先取る新製品の開発」です。昨今、お客様は製品の基本性能はもとより、「省人化」や「省エネ」も満たした優れた製品を求めています。それらニーズを満たす製品やオプションを開発すべく、日々研究開発を進めています。11月に開催されたJIMTOF2024においては、工程集約による省人化や省エネのフラッグシップモデルであるXTL-8シリーズの新機種「XTL-8MY」「XTL-8MYS」を展示しました。引き続き、精力的な新機種開発に取り組んでいきます。

二つ目は「機動的な販売体制の整備」です。限りある営業リソースを最大限有効に機能させるために、社内サポート体制の充実、販促資料の整備・拡充、効率的な販売経路の整備などに

力点を置いた体制作りに取り組んでいます。

三つ目は「次期中期経営計画の策定」です。第64期は中期計画2024の最終年度に当たるため、新たな中期経営計画を策定中です。現状、当社グループに不足している点、今後より注力すべき点など様々なものが顕在化しています。次期中期経営計画では、これら課題を解決する道筋を明確化させるとともに、長期的な会社の方向性も踏まえて検討し、企業価値の向上をはかっていきます。

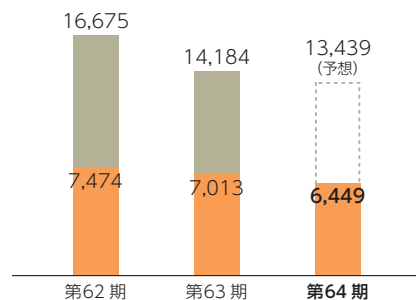
この他にも当社は様々な取り組みを検討・実施し、今般の逆風をはね返し、企業として将来にわたって成長を続けられるように全社一丸となって邁進していきます。今後とも変わらぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

売上高

(単位：百万円)

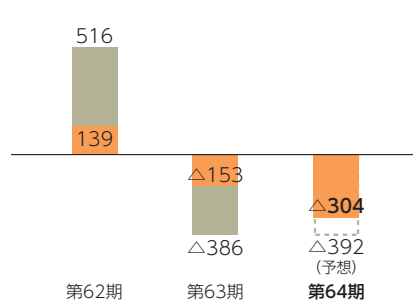
■ 中間期 ■ 通期



営業利益

(単位：百万円)

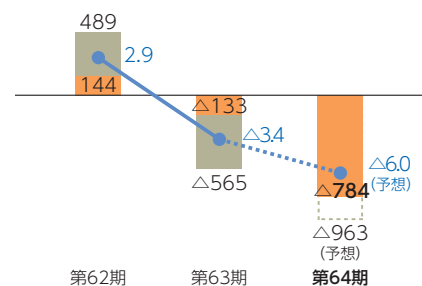
■ 中間期 ■ 通期



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益

(単位：百万円、%)

■ 中間期 ■ 通期 ● 自己資本利益率(ROE)



第64期中間期 売上高構成比

工作機械事業 88.4%

IT関連製造装置事業

10.3%

1.3%

自動車部品加工事業

工作機械事業

売上高 5,702百万円
(前年同期比 8.6%減)

営業利益 △317百万円
(前年同期は△163百万円)

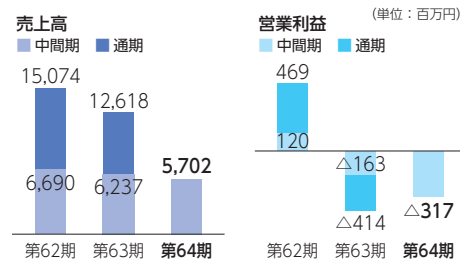


営業面では、国内外の主要展示会に出展し、当社の強みである自動化力・カスタマイズ力をPRしてきました。

また、ディーラ主催展示会への参加、営業キャンペーンの実施、海外現地プライベートショーの開催などにより、ターゲットユーザーに対してニーズに沿った提案営業を推進し、当社グループの主力受注先である自動車業界からの受注拡大や、自動車業界以外の市場開拓にも取り組んできました。

地域別の売上高は、国内向けが減少しましたが、海外向けが全ての地域で大きく増加した結果、内需が35億86百万円(前年同期比20.9%減)、外需が21億16百万円(同24.2%増)、外需比率が37.1%(前年同期は27.3%)となりました。

設備投資面では、今後の自動車業界の需要回復に備え、新たなマシニングセンタを導入するなど、中長期視点からの生産能力向上を推進しました。



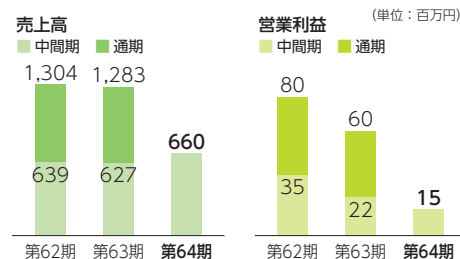
IT関連製造装置事業

売上高 660百万円
(前年同期比 5.3%増)

営業利益 15百万円
(前年同期比 31.3%減)

半導体需要の調整継続により受注高が減少しましたが、新規案件開拓の成果が上がったとともに、既存案件売上高が下支えたことで、売上高は堅調に推移しました。

利益面では、コスト低減活動を推進しているものの新規案件による工数拡大等も影響し、営業利益が減少しました。

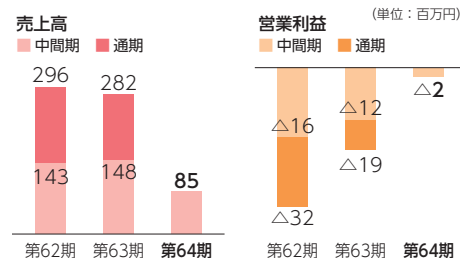


自動車部品加工事業

売上高 85百万円
(前年同期比 42.3%減)

営業利益 △2百万円
(前年同期は△12百万円)

海外自動車メーカー向けの販売不振による生産数減少によって売上高が減少している中、赤字であった海外連結子会社を解散した影響、採算性改善に向けた取引内容見直しの成果などにより、営業損失が縮小しました。

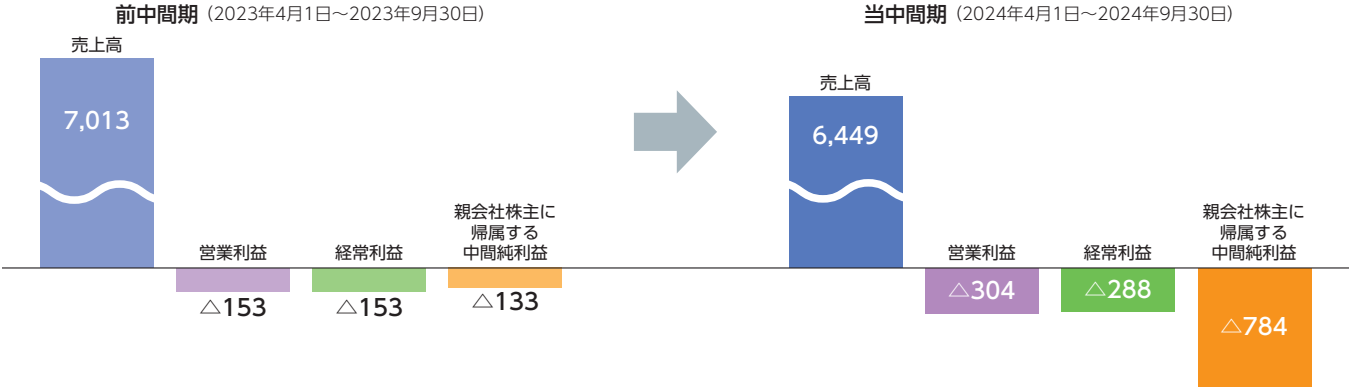


中間連結財務諸表

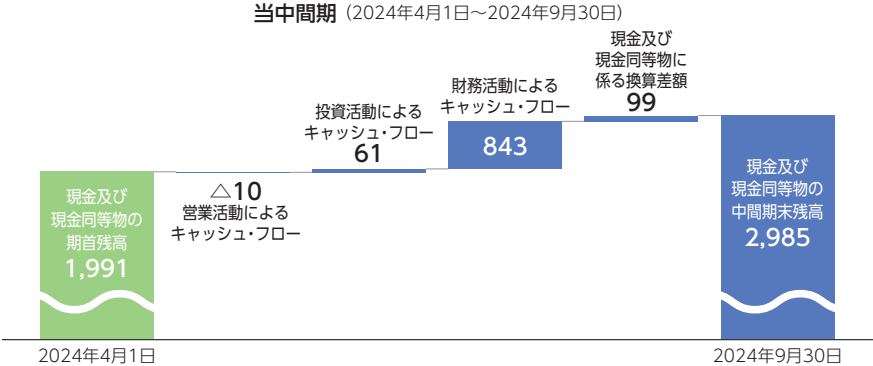
中間連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



中間連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



財務情報のご案内

詳細な財務情報は、当社IRサイトより
ご覧いただけます。



IR・投資家
向け情報
Click!



<https://www.takamaz.co.jp/ir/>

新製品が続々と受賞しています！

2022年から2024年にかけて発売された新製品が、この度様々な受賞の対象となりました。これまで当社の培ってきた製品力が外部にも認められた結果であり、これを励みに引き続き新しい技術や製品の開発に邁進していきます。

XWG-3

発売日 2022年4月



第54回 機械工業デザイン賞IDEA「日本デザイン学会賞」

- 受賞日 2024年7月31日
- 主催者 日刊工業新聞社
- 賞の目的 生産財の国際競争力を獲得するために、デザインを基盤とする輸出市場開拓、促進を目的としたもの。
- 評価 本製品は、当社XWシリーズラインナップにおけるハイスピード・高精度加工機に位置づけられている。デザインもこれまでのシリーズから先進的に一新され、機能性も含めて今後のブランドイメージの構築が期待される。



XWT-8

発売日 2023年11月



精密工学会ものづくり賞「優秀賞」

- 受賞日 2024年9月5日
- 主催者 公益社団法人 精密工学会
- 賞の目的 精密工学の分野で、社会的価値の高い製品や技術を開発した中小・中堅企業等に対し、その精進と努力に報いるとともに、更なる発展を支援することを目的として贈賞するもの。
- 評価 工作機械の精度安定には温度環境の安定が必要であるが、空調温度の調整や、その他の温調装置を用いることなく、工場床付近の温度変化の少ない空気を機械内に換気循環させることで機械内部の温度を一定にして省エネ効果を実現している。



XTS-6

発売日 2022年4月



いしかわエコデザイン賞2024「銀賞」

- 受賞日 2024年10月10日
- 主催者 石川県
- 賞の目的 主に環境保全の面から持続可能な社会の実現に繋がる「モノづくり」「コトおこし」「ヒトづくり」に取り組む石川県の企業や団体、個人を表彰するもの。
- 評価 機械の小型化による省スペース化・搬入時間の短縮、機能性の面においては動作の高速化に伴う作業員の労働時間短縮、作業環境の快適性の実現などを評価。

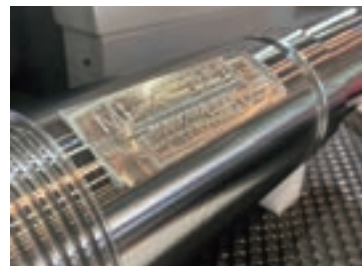


XTL-8MYの販売開始！ キーワードは「工程集約」！



前回、第63期株主通信の製品紹介でご紹介させていただいた新製品のXTL-8に続いて、同じシリーズの新製品である「XTL-8MY」が販売開始となりました。

XTL-8は、EV、HV、ガソリン車等の自動車や産業機械に使われるシャフトワークなどの「長い部品」を加工するのに適した機種ですが、XTL-8MYでは、そこに回転工具や追加の2軸を配備することで、同じ長い部品でもより複雑な形状の加工が可能となりました。これにより、通常複数台の機械を介した工程を当機一台で賄うことが可能となり、工場の省スペース化や省エネ、加工のスピードの向上など、ユーザーにとって様々なメリットをもたらします。



MEX金沢2024でのデモワークの写真
円筒形の対象物に平面での加工を実現している

日本国際工作機械見本市 (JIMTOF2024) に出展しました！

2024年11月5日～10日の6日間で行われた、日本国際工作機械見本市 (JIMTOF2024) において、上記の「XTL-8MY」を展示しました。

今回の出展では実際にシャフトワークを加工するデモンストレーションも行っており、無駄のない高効率な動きに、来場いただいたお客様から歓声が上がる場面もありました。また、会場では当機種についての多くの問い合わせをいただいております。注目の大きさがうかがえる結果となりました。

引き続き当社HPや公式YouTubeなどにおいて、当機種のPRを広く行い、多くの引合や受注を得られるように取り組んでいきます。

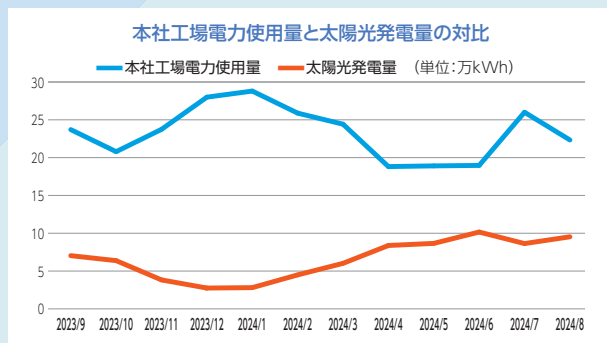


あさひ工場の太陽光発電開始

昨年度の本社工場の太陽光発電設備の導入に引き続き、この度、2024年10月1日より当社旗艦工場である「あさひ工場」においても、屋上に設置する形で設備を導入し稼働を開始しました。本社工場では、2023年9月～2024年8月の一年で約78万kWhの電力量(同工場の必要電力量の約20%)を当該設備から賄うことができ、あさひ工場においては、年間約40万kWhの電力量(同工場の必要電力量の約25%)の確保を期待しています。

また、これら双方の設備が想定通りに稼働すれば、年間554トンのCO₂排出削減が期待でき、より環境に配慮した生産活動を実現することが可能となります。

当社としては引き続き、環境を含め様々な面で持続可能性を追求していきます。



当社採用ページのリニューアル

年々厳しさが増す採用環境において、当社に対して少しでも興味を持ってもらうべく、当社採用ページを、この度大幅にリニューアルしました。

今回のリニューアルは、若手社員が中心となって制作に臨み、彼らの目線で当社の魅力をたくさん紹介しているページとなっています。

今後も引き続き活気ある様子をHP等で発信していきますので、ご覧いただければと思います。

リニューアルした当社採用ページは、右記URL、QRコードからご覧ください。

<https://recruit.takamaz.co.jp/>

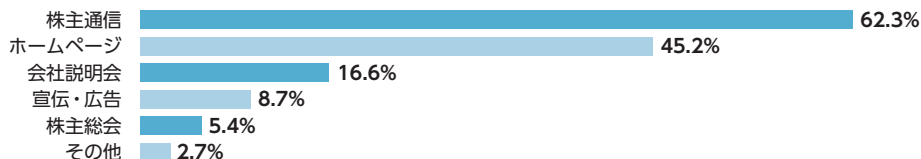


アンケートのご報告

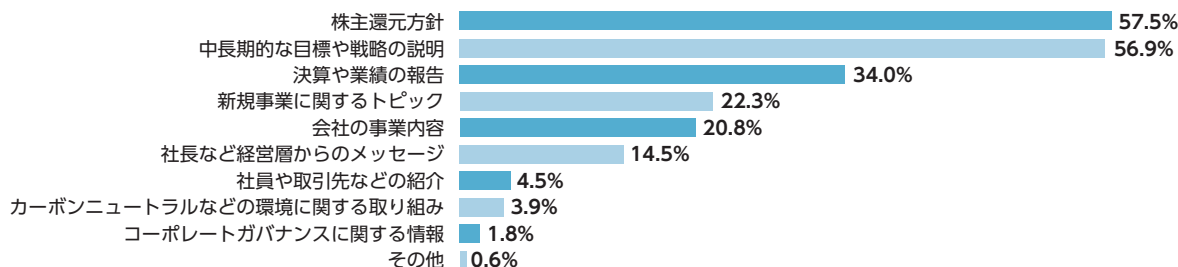
第63期株主通信にてご案内しましたアンケートにおきましては、たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。皆様にさせていただいた質問の中から、当社のIR活動に関する質問のご回答をご報告させていただきます。

株主数
3,000名
アンケート回答数
332名
アンケート返信率
11.1%

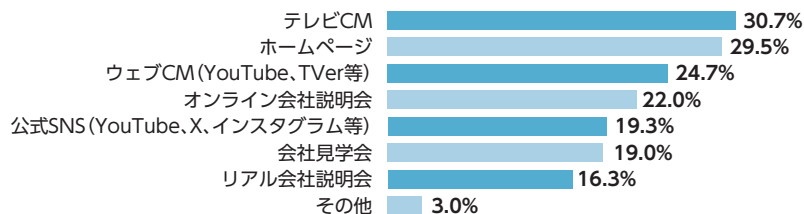
Q1. 当社IR活動の拡充に向けて、今後どのような形での情報提供を希望されますか？（複数回答可）



Q2. 当社に関して、更なる充実化を求める情報はなんでしょうか？（複数回答可）



Q3. 当社の認知度向上策として何が効果的と思われますか？（複数回答可）



個人投資家向け説明会を開催しました（東京、金沢、オンライン）

上記Q3にて質問もしていますが、当社の認知度向上策として、今年は8月後半から9月前半にかけて、東京開催、金沢開催、オンライン開催での個人投資家向け会社説明会を行いました。説明会資料やオンライン開催の動画は、当社ホームページに掲載していますので、こちらのQRコード、またはURLよりご覧ください。

<https://www.takamaz.co.jp/news/8938/>



会社概要

商 号	高松機械工業株式会社
英 文 商 号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設 立	1961年7月
資 本 金	18億3,539万円
本 社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従 業 員 数	497名
事 業 内 容	● CNC旋盤等の製造、販売およびサービス・メンテナンス ● 部品、コレットチャック等の製造、販売 ● IT関連製造装置の製造 ● 自動車部品の加工 ● 食品加工機械の製造、販売 ● 資源ごみAI自動選別機の製造、販売
ホームページアドレス	https://www.takamaz.co.jp

役 員

代表取締役会長	高 松 喜 与 志
代表取締役社長	高 松 宗 一 郎
専 務 取 締 役	徳 野 穰
常 務 取 締 役	磯 部 稔
常 務 取 締 役	四 十 万 尚
取締役（社外）	中 西 祐 一
取締役（社外）	池 元 こ と み
取締役（社外）	高 田 英 美
常 勤 監 査 役	村 田 俊 哉
監査役（社外）	高 井 和 男
監査役（社外）	寺 井 尚 孝

執行役員

上 席 執 行 役 員	唐 木 英 幹
上 席 執 行 役 員	梅 田 勝
執 行 役 員	山 野 真
執 行 役 員	鍋 木 一 弘

ネットワークとサービス体制



株式の状況

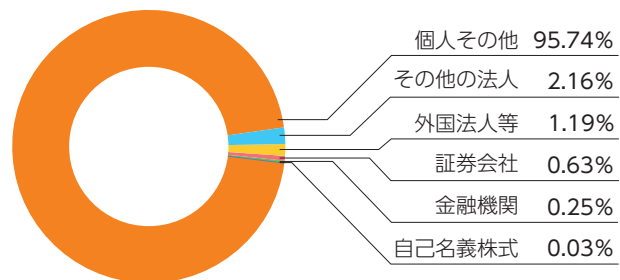
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	11,020,000 株
1単元の株式数	100 株
株主数	3,195 名

大株主

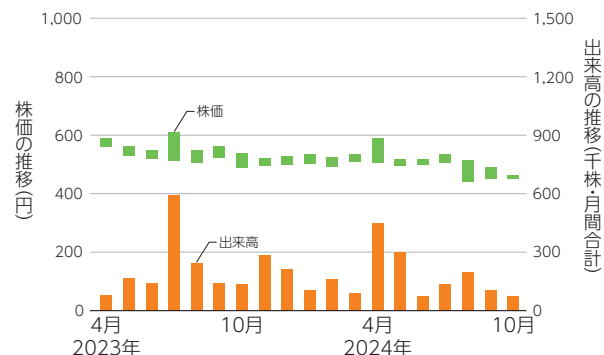
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	1,150	10.68
株式会社タカマツ	810	7.52
北国総合リース株式会社	433	4.02
株式会社北國銀行	408	3.79
日本生命保険相互会社	384	3.57
株式会社朝日電機製作所	361	3.36
明治安田生命保険相互会社	360	3.34
高松機械工業社員持株会	335	3.11
高松 明毅	330	3.07
高松 喜与志	305	2.83

(注) 持株比率は自己株式(249,539株)を控除して計算しております。

所有者別株主数比率



株価・出来高の推移

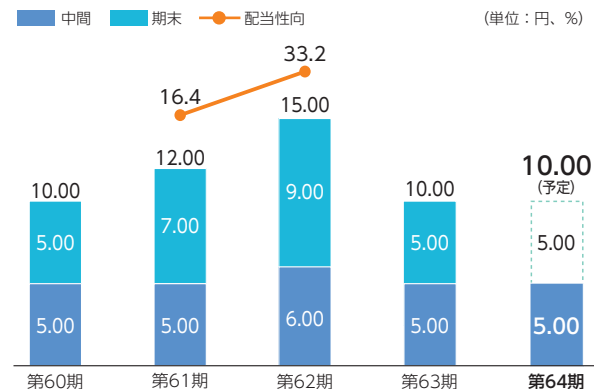


配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、安定的な配当水準を維持していく方針です。

また、将来の利益の成長および企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行っていきます。当社の剰余金の配当は、中間配当および期末配当の年2回を基本的な方針としています。

1株当たり配当額



※第60期および第63期においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため、第64期においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナス予想のため、配当性向を表示していません。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日
(1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<https://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410(直通)
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでは、様々な企業情報や展示会・イベント情報、IR情報をお届けしています。どうぞお気軽にアクセス、ご利用ください！



当社ウェブサイト「トップページ」

<https://www.takamaz.co.jp>



「サステナビリティページ」



表紙のご紹介

表紙の作品は、KOTOさん作「冬の氷」という作品です。「冬の氷」というと寒々しいイメージがありますが、KOTOさんの作品は、愉快でポップ、あたたかな印象に変えてくれます。来たる冬の時季もきっとわくわくしたものになるでしょう。

